ニューヨーク補習授業校だより

平成２７年度４月号
校　長　青木　正彦

＜　平成２７年度入園・入学・始業式の式辞（ビデオメッセージから）＞



会場の皆さん、おはようございます。この度、４月８日付で、ニューヨーク補習授業校に校長として赴任します、青木正彦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、きれいな春の花の咲くこの季節に、入学された幼児部、初等部、中等部、高等部の皆さん、おめでとうございます。

まず、幼児部の皆さんにお話します。入園おめでとうございます。この幼児部では、とても楽しいことが、いっぱいあります。今日から新しいお友だちと、仲よく、元気に、過ごしてくださいね。

初等部に入学した皆さん、入学おめでとうございます。今日から初等部の１年生として、新しい生活が始まります。皆さんにとって、本校に来ることが楽しくなるように、目指してほしいことが３つあります。「あいさつのできる子」、「思いやりのある子」、「進んで学習する子」です。補習校に通い続けながら、この３つができるようになりましょう。皆さんのがんばりを応援します。

中等部に入学した皆さん、入学おめでとうございます。校長として私から３つの提言があります。

一つ目は、「挑戦する」ということです。不可能と思える壁をいくつも乗り越えてください。そのための挑戦をいくつもしてください。挑戦して達成して、「やればできる」という自信をもってください。

そして、その挑戦の一つには、「補習校に通い続ける」ということを、つけ加えてください。平日は現地校に、土曜日は補習校に通うということは、二つの異なった文化の中に、身を置いて生活することですから、大変なことです。楽しいことばかりでなく、つらいこともあるかと思いますが、この挑戦は、おそらくこれからの自分の人生にとって、かけがえのないもの、最も大きな影響を与えるものになるはずです。

二つ目は、「学習する」ということです。問題を見つけること。問題について考え抜くこと。問題を解決すること、あるいは解決に向けて努力することが「学習する」です。しっかり、真剣に学習してください。

三つ目は、「チーム力を高める」ということです。一人ではできないことでも数人集まって、できることはたくさんあります。教科で学習するとき、運動会のような行事のとき、生徒会の活動のときに、チームの一員として、そのチームの力を十分に発揮させる工夫と努力をしてください。よいメンバーを集めて、よいチームをつくるのではありません。どんなチームに入っても、そのチームが、最大限の力を発揮できるように、努めてほしいのです。

「挑戦する」とは、前に踏み出す力、「学習する」とは、考え抜く力、「チーム力を高める」とは、チームで働く力。この三つは、変化の激しい社会で生き抜くための社会人基礎力だからです。これから補習校での学びの生活を通して、この三つの力を培ってください。

高等部に入学した皆さん、入学おめでとうございます。日本では、今、グローバル化、情報化する社会に対応できる教育を実現しようと力を注いでいます。しかし、日本という一つの文化圏だけに留まっている生活の中では、そのような教育を完結させることは、容易ではありません。多様な価値観をもった人々と豊かな人間関係を築くとともに、主体的に考え、行動する力を身に付けている人間が、これからの社会に求められています。

ここにいる皆さん、皆さんこそが、その求められている理想の人間に、最も近いところにいるのです。皆さんが、補習校でさらに学びながら、個性を磨き、大きな夢をもって、未来を切り拓いてほしいと願っています。

さて、在校生の皆さん、進級おめでとうございます。今日から、新しいクラス、新しい先生、新しい教科書、新しい年、平成２７年度が始まります。今年度の皆さんの新しい目標は、何ですか。新しい挑戦は、何ですか。

自分の将来に大きな夢を描いて、その夢を実現させるために、今、自分はどんな目標を立てたらよいのか、よく考え決めてください。先生たちも、頑張る皆さんをしっかり応援します。

保護者の皆様、お子様のご入園･ご入学、誠におめでとうございます。そしてご進級、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。これまで同様に学校運営につきまして、ご理解をいただき、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本日ご多用の中、ご臨席いただきましたご来賓の皆様には、日頃から学校を支えていただき、ありがとうございます。今後とも温かく見守っていただけますようお願い申し上げ、式辞といたします。

平成２７年４月４日　　校長　青木　正彦